



平成23年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年11月9日

上場取引所 東

上場会社名 アネスト岩田株式会社

コード番号 6381 URL <http://www.anest-iwata.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 壺田 貴弘

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長 (氏名) 飯田 紀之

TEL 045-591-1182

四半期報告書提出予定日 平成22年11月12日 配当支払開始予定日 平成22年12月6日

平成22年12月6日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第2四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	10,106	22.8	1,148	420.7	1,245	255.5	863	537.6
22年3月期第2四半期	8,232	△38.6	220	△86.2	350	△79.8	135	△87.0

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	19.02	—
22年3月期第2四半期	2.94	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第2四半期	24,682	17,627	68.8	374.14
22年3月期	24,140	17,440	69.4	368.81

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 16,982百万円 22年3月期 16,743百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
23年3月期	—	5.00	—	—	—
23年3月期 (予想)	—	—	—	4.00	9.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,000	17.4	1,800	100.8	2,000	81.2	1,350	89.7	29.74

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「その他」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社（社名 ）、除外 一社（社名 ）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む） 23年3月期2Q 45,665,505株 22年3月期 46,165,505株

② 期末自己株式数 23年3月期2Q 275,463株 22年3月期 765,857株

③ 期中平均株式数（四半期累計） 23年3月期2Q 45,395,663株 22年3月期2Q 46,132,048株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	P2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P2
2. その他の情報	P3
(1) 重要な子会社の異動の概要	P3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	P3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	P3
3. 四半期連結財務諸表	P4
(1) 四半期連結貸借対照表	P4
(2) 四半期連結損益計算書	P5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P6
(4) 継続企業の前提に関する注記	P7
(5) セグメント情報	P7
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P8

※ 当社は、以下のとおり投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する資料等については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。
・平成22年11月25日(木)・・・機関投資家・アナリスト向け決算説明会

※ 上記説明会のほかにも、当社では、個人投資家向けの皆様向けに適宜、事業・業績に関する説明会を開催しています。開催の予定等については、当社ホームページをご確認ください。

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

①業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出の回復や消費促進策などにより生産は回復してきましたが、内外需要の低下や円高の進行などによる景気後退懸念から経済全般に不透明感が増してまいりました。

当業界においては、主要な顧客である製造業の生産活動・設備投資が回復してまいりました。

このような状況のなか、当社グループは有望市場の開拓・深耕に積極的に経営資源を投入し、諸施策を実行してまいりました。新製品開発におきましては、自動車補修用スプレーガンW-101の新モデル、塗料攪拌機AMMシリーズのバリエーション拡大、機能剤供給用加圧式タンク、低真空分野向けDVSLシリーズの新モデル、真空ポンプISPシリーズの省エネ対応機等を開発・発売いたしました。販売におきましては、新市場・新販路の開拓を図るため営業員の再配置やITツール等の活用によりお客様への提案力の向上を図ってまいりました。

また、原価低減策の実行や経費の見直しを継続的に推進し、利益の確保に注力してまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高10,106百万円、営業利益1,148百万円、経常利益1,245百万円、四半期純利益863百万円となりました。前年同四半期連結累計期間対比では売上高が22.8%増、営業利益は420.7%増、経常利益は255.5%増、四半期純利益は537.6%増の増収増益となりました。

②セグメントの業績

3. 四半期連結財務諸表 (5) セグメント情報をご覧ください。

③製品別売上高

製品区分	前第2四半期連結累計期間		当第2四半期連結累計期間		前年同期比増減	
	平成21年4月1日～平成21年9月30日		平成22年4月1日～平成22年9月30日			
	売上高(千円)	構成比(%)	売上高(千円)	構成比(%)	増減額(千円)	増減率(%)
圧縮機	3,842,446	46.7	4,665,818	46.2	823,372	21.4
真空機器	536,064	6.5	916,378	9.1	380,314	70.9
塗装機器	3,107,096	37.7	3,744,249	37.0	637,152	20.5
塗装設備	747,361	9.1	780,396	7.7	33,035	4.4
計	8,232,968	100.0	10,106,842	100.0	1,873,874	22.8

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は24,682百万円（前連結会計年度末比541百万円増）、負債は7,054百万円（同355百万円増）、純資産は17,627百万円（同186百万円増）、自己資本比率は68.8%（同0.6ポイント減）となりました。

自己株式の消却により利益剰余金と自己株式が同額（164百万円）減少しております。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、前年同四半期連結累計期間末に比べ1,971百万円増加し、5,508百万円となりました。営業活動によるキャッシュ・フローは1,383百万円の収入（前年同四半期連結累計期間比851百万円の収入増）、投資活動によるキャッシュ・フローは110百万円の収入（前年同四半期連結累計期間は2,114百万円の支出）、財務活動によるキャッシュ・フローは412百万円の支出（前年同四半期連結累計期間比285百万円の支出増）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年11月4日の「業績予想および配当予想（増配）に関するお知らせ」にて公表のとおり、平成23年3月期通期業績予想を変更いたしました。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

《簡便な会計処理》

①一般債権の貸倒見積高の算定方法

貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められる場合に、前連結会計年度において算定した貸倒実績率等の合理的な基準を使用して一般債権の貸倒見積高を算定しております。

②棚卸資産の評価方法

四半期連結会計期間末における棚卸高の算出に関して、実地棚卸を省略し前連結会計年度に係る実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。四半期連結会計期間末における棚卸資産の簿価切下げについては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法を採用しております。また、営業循環過程から外れた棚卸資産については、著しい変化がないと認められる限り前連結会計年度末時点における処分見込価格により計上する方法を採用しております。

③固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産の減価償却費につきましては、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

《会計処理基準に関する事項の変更》

①「持分法に関する会計基準」及び「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取り扱い」の適用

第1四半期連結会計期間より「持分法に関する会計基準」(企業会計基準第16号 平成20年3月10日公表分)及び「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取り扱い」(実務対応報告第24号 平成20年3月10日)を適用し、連結決算上必要な修正を行っております。これによる営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響はありません。

②資産除去債務に関する会計基準の適用

第1四半期連結会計期間より「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しています。当会計基準の適用開始により、期首に資産除去債務として3百万円を固定負債のその他に計上しております。これにより税金等調整前四半期純利益は3百万円減少しております。

③企業結合に関する会計基準等の適用

第1四半期連結会計期間より「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成20年12月26日)及び「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)、「『研究開発費等に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第23号 平成20年12月26日)、「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成20年12月26日)、「持分法に関する会計基準」(企業会計基準第16号 平成20年12月26日公表分)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 平成20年12月26日)を適用しています。これによる営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,112,024	5,307,869
受取手形及び売掛金	3,941,620	4,071,844
商品及び製品	1,594,884	1,505,157
仕掛品	115,053	108,513
原材料及び貯蔵品	866,398	957,996
繰延税金資産	548,173	512,568
その他	694,685	510,913
貸倒引当金	△18,875	△20,205
流動資産合計	13,853,965	12,954,658
固定資産		
有形固定資産	5,649,882	5,665,478
無形固定資産	76,677	66,668
投資その他の資産		
投資有価証券	3,505,433	3,140,934
繰延税金資産	942,141	859,136
その他	684,626	1,485,606
貸倒引当金	△30,236	△31,979
投資その他の資産合計	5,101,965	5,453,698
固定資産合計	10,828,525	11,185,844
資産合計	24,682,491	24,140,502
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,180,586	1,982,865
短期借入金	20,236	159,558
未払法人税等	419,158	61,727
賞与引当金	656,760	592,673
その他の引当金	131,411	114,694
その他	974,583	969,747
流動負債合計	4,382,737	3,881,266
固定負債		
長期借入金	53,750	72,400
退職給付引当金	2,087,938	2,252,547
その他	530,531	493,482
固定負債合計	2,672,220	2,818,431
負債合計	7,054,958	6,699,698
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,354,353	3,354,353
資本剰余金	1,380,380	1,380,380
利益剰余金	13,077,589	12,606,035
自己株式	△90,836	△252,827
株主資本合計	17,721,486	17,087,942
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△124,542	77,593
為替換算調整勘定	△614,871	△421,801
評価・換算差額等合計	△739,413	△344,207
少数株主持分	645,459	697,070
純資産合計	17,627,532	17,440,804
負債純資産合計	24,682,491	24,140,502

(2) 四半期連結損益計算書

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
売上高	8,232,968	10,106,842
売上原価	5,082,440	5,854,510
売上総利益	3,150,527	4,252,331
販売費及び一般管理費	2,929,889	3,103,395
営業利益	220,638	1,148,935
営業外収益		
受取利息及び配当金	30,756	39,294
持分法による投資利益	49,657	69,830
その他	91,896	63,924
営業外収益合計	172,311	173,049
営業外費用		
支払利息	8,758	1,900
為替差損	18,316	59,793
その他	15,605	15,126
営業外費用合計	42,680	76,819
経常利益	350,269	1,245,165
特別利益		
投資有価証券売却益	—	45,280
貸倒引当金戻入額	502	—
その他	4,202	36,070
特別利益合計	4,704	81,350
特別損失		
固定資産除売却損	11,192	4,028
退職特別加算金	28,940	—
その他	—	5,055
特別損失合計	40,132	9,083
税金等調整前四半期純利益	314,842	1,317,431
法人税、住民税及び事業税	114,916	414,112
法人税等調整額	53,733	17,250
法人税等合計	168,650	431,363
少数株主損益調整前四半期純利益	—	886,068
少数株主利益	10,764	22,637
四半期純利益	135,428	863,431

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	314,842	1,317,431
減価償却費	279,582	281,219
貸倒引当金の増減額（△は減少）	4,925	△1,004
賞与引当金の増減額（△は減少）	19,106	64,346
製品保証引当金の増減額（△は減少）	△38,386	13,806
退職給付引当金の増減額（△は減少）	△84,196	△153,190
役員賞与引当金の増減額（△は減少）	△17,840	3,210
受取利息及び受取配当金	△30,756	△39,294
支払利息	8,758	1,900
持分法による投資損益（△は益）	30,644	△27,417
固定資産除売却損益（△は益）	7,137	4,002
投資有価証券売却及び評価損益（△は益）	—	△45,280
売上債権の増減額（△は増加）	363,036	△27,813
たな卸資産の増減額（△は増加）	70,029	△146,320
仕入債務の増減額（△は減少）	△410,239	346,950
未払消費税等の増減額（△は減少）	△43,290	39,420
その他	△119,144	△230,933
小計	354,209	1,401,033
利息及び配当金の受取額	30,756	39,294
利息の支払額	△8,758	△1,900
法人税等の支払額又は還付額（△は支払）	156,614	△54,473
営業活動によるキャッシュ・フロー	532,821	1,383,953
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額（△は増加）	△1,500,020	1,000,000
有形固定資産の取得による支出	△314,434	△253,154
有形固定資産の売却による収入	7,952	529
投資有価証券の取得による支出	△300,000	△705,399
投資有価証券の売却による収入	—	73,597
貸付けによる支出	△17,781	△1,148
貸付金の回収による収入	12,587	44,136
出資金の払込による支出	—	△47,937
その他	△3,011	55
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,114,708	110,679
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	25,162	△105,670
リース債務の返済による支出	△12,299	△41,178
長期借入金の返済による支出	△27,648	△18,073
自己株式の取得による支出	△683	△2,888
自己株式の売却による収入	227	—
少数株主からの払込みによる収入	—	2,695
配当金の支払額	△93,624	△227,172
少数株主への配当金の支払額	△18,532	△20,695
財務活動によるキャッシュ・フロー	△127,398	△412,982
現金及び現金同等物に係る換算差額	35,512	△80,753
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△1,673,772	1,000,896
現金及び現金同等物の期首残高	5,210,922	4,507,869
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,537,149	5,508,766

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年9月30日)

当社及び連結子会社は、販売市場、製品用途等の類似性から判断して同種・同系列の圧縮機、真空機器、塗装機器及び塗装設備を専ら製造販売しているため、事業の種類別セグメント情報の記載をしておりません。

【所在地別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年9月30日)

(単位：千円)

	日本	ヨーロッパ	その他の地域	計	消去又は全社	連結
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	6,084,186	696,451	1,452,330	8,232,968	—	8,232,968
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	951,069	26,401	20,589	998,061	(998,061)	—
計	7,035,256	722,853	1,472,920	9,231,029	(998,061)	8,232,968
営業利益又は営業損失(△)	456,536	△46,213	△26,318	384,004	(163,365)	220,638

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国又は地域

(1) ヨーロッパ……イタリア・フランス・イギリス・スウェーデン・スペイン

(2) その他の地域……アメリカ・インド・中国・タイ・韓国・オーストラリア

【海外売上高】

前第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年9月30日)

	ヨーロッパ	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高(千円)	890,523	1,183,867	967,672	3,042,062
II 連結売上高(千円)				8,232,968
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	10.8	14.4	11.8	36.9

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国又は地域

(1) ヨーロッパ……イタリア・フランス・イギリス

(2) アジア……中国・インド・韓国・タイ

(3) その他の地域……アメリカ・オーストラリア

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域向けの売上高であります。

【セグメント情報】

1 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位の内、分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、圧縮機、真空機器、塗装機器及び塗装設備を専ら製造販売しており、国内においては当社及び国内連結子会社が、海外においてはヨーロッパ（主にイタリア・フランス・ドイツ）、アジア（主に中国・インド・韓国）等の各地域をそれぞれの現地法人が担当しております。現地法人はそれぞれ独立した経営単位であり、それぞれの取り扱う製品について各地域の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従って、当社グループは生産・販売体制を基礎とした所在地別のセグメントから構成されており、「日本」、「ヨーロッパ」、及び「アジア」の3つを報告セグメントとしております。

2 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第2四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日）

（単位：千円）

	報告セグメント				その他（注）	合計
	日本	ヨーロッパ	アジア	計		
売上高						
外部顧客への売上高	7,593,727	820,840	922,430	9,336,998	769,843	10,106,842
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,280,958	27,848	30,996	1,339,803	11,899	1,351,703
計	8,874,685	848,689	953,427	10,676,802	781,743	11,458,545
セグメント利益	1,224,158	79,783	71,872	1,375,814	27,977	1,403,791

（注） 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、オーストラリア、ロシア及びアメリカの現地法人の事業活動であります。

3 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容（差異調整に関する事項）

当第2四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	1,375,814
「その他」区分の利益	27,977
セグメント間取引消去	7,450
全社費用（注）	△ 262,306
四半期連結損益計算書の営業利益	1,148,935

（注） 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

（追加情報）

第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成22年9月13日開催の取締役会において、会社法第178条の規定に基づき、自己株式を消却することを決議し、次の通り自己株式を消却いたしました。これにより、利益剰余金及び自己株式がそれぞれ164,879千円減少しております。

- (1) 消却した株式の種類 当社普通株式
- (2) 消却した株式の総数 500,000株
- (3) 消却実施日 平成22年9月27日